

名取のごみ処理に関する説明会概要

⑫名取市役所

1 日 時 令和7年7月17日（木）14:00 ～ 15:40

2 場 所 名取市役所3階議会棟 第1～4委員会室

3 参加者

（1）市民37名

（2）朽木環境共創課長、石川環境共創課長補佐、小山主事

4 説明事項

（1）これまでのごみ行政について

（2）現在のごみ処理について

（3）ごみに関する名取市の取り組みについて

（4）最終処分場の機能と役割について

（5）質疑応答

<質疑応答（要約）>

（1）最終処分場の概要、選定過程などに関する質疑

Q1 津波浸水域や土質を踏まえたうえで、年度内に候補地の選定を行うのか。

A1 調査項目の中に災害危険性も含まれている。調査結果により、有識者の意見等も踏まえて候補地の選定が行われる。

Q2 最終処分場の候補地として小塚原が挙げたことがあるが、工事費が100億円かかるため中止になった経過がある。クローズド型は高額になると思うが、工事費に上限はないのか。

A2 工事費が高額になり、断念した経過はある。今回の選定では現時点で工事費用の上限を設けていないが、コンサルタントの調査結果を勘案して選定したいと考えている。

Q3 名取市役所の説明会で 12 箇所全てを終了したが、各地区での反応を伺いたい。

A3 ごみの話では、違反ごみや不法投棄等のご意見をいただいております、個別に対応を考えている。

最終処分場の話では、ご理解いただけた部分はあると思うが、候補地 5 箇所のうち、3 箇所が愛島地区にあり、これまで焼却施設や処分場が立地をされていた経過や、過去に愛島地区を処分場の第 1 候補地にしないという文書を当時の任意団体に出した経過があることから、愛島地区からは厳しい意見をいただいている。

最終処分場の候補地選定としては、今年度末までに 1 箇所に選定したいと考えており、そこから当該地区との話し合いや地権者との用地交渉が入ると竣工までは最短でも 3～5 年はかかるだろうと考えている。

Q4 クローズド型であれば、どこの場所でも造れると感じた。しかし、建設費用が場所ごとに変わるのであれば、どうなのかとも思った。これまでは、最終処分場に対し拒否反応しなかったが、閉鎖後に有効活用できるのであれば、納得する部分も出てくるのかと感じた。

【回答不要】

(2) その他質疑

Q1 ロゴフォームに返信機能がないのであれば、未読・既読がわかる機能を付けた方がよい。

【回答不要】